

基本要件

■ 基本事項

項番	質問
1	システムの機能の全部または一部を提供する形態のクラウドサービス（いわゆるパブリッククラウド）をSaaS方式で提供すること。
2	日本国の法令の範囲内で運用できるサービスであり、個人情報のデータが保管されるデータセンターが日本国内にあること。
3	複数の自治体や企業が同じサービスを共有して利用する方式（マルチテナント）である場合は、他の自治体や企業が本市のデータにアクセスできないものであること。
4	提供に必要なソフトウェアのバージョンアップがある場合は、受託者の負担で対応できること。
5	利用に当たって、専用ソフトのインストールが不要であること。
6	本市が行う各種設定変更等の操作が、プログラミング等の専門知識を必要とすることなく、実施できること。
7	利用時間だけ有効な暗証番号等の発行及び利用者への通知が自動的にでき、その暗証番号等によってキーボックスの解錠ができるよう、予約システムとキーボックスが連動できること。
8	本市、学校及び利用者が、パソコンやスマートフォンにより、各種ブラウザを通じて利用できること（推奨環境等）。
9	最新のOS及びブラウザに対応できること。
10	冗長構成や冗長回線等の実装により可用性を十分に考慮した設計となっていること。
11	定期的に時刻同期を行う等、取得するログの時刻、タイムゾーンを統一できること。
12	アクセシビリティの確保と向上のための取り組みや、すべての利用者が支障なく利用できるための配慮等がされていること。
13	本業務の契約期間内で、対象校および対象施設が増加した場合は対応できること。

基本要件

■セキュリティ対策

項番	質問
1	システムを開発、提供する事業者が、情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC 27001またはJIS Q27001）、または、日本産業規格「JIS Q15001 個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に基づくプライバシーマークの認証を取得していること。 さらに、クラウドサービスセキュリティ管理策（ISO/IEC 27017）の認証を併せて取得していること。
2	SSL/TLSサーバー証明書を使用してサイトの実在証明と暗号化通信を行う等の機密情報漏えい対策が講じられていること。
3	クロスサイトスクリプティング、SQLインジェクション等へのセキュリティ対策が講じられていること。
4	定期的にバックアップを取得し、障害等でデータが破損した際には、バックアップ時点のデータに復旧できること。
5	バックアップデータを含む保管データは、すべて暗号化等の対策が講じられていること。
6	アクセスを許可したアカウント（利用者、管理者等）に対する権限管理を行う機能が設けられていること。
7	システムログの参照等に当たっては、システム管理権限等により閲覧者を限定できること。
8	インターネットからの不正な接続、侵入、情報資産（ログを含む）の漏えい、改ざん、消去、破壊及び不正利用等を防止するための対策が講じられていること。
9	ログを一定期間保管し、取得したログの分析に必要な情報を本市に提供できること。
10	継続的にセキュリティが確保されるよう、PDCAサイクルで管理運用を行い、セキュリティレベルが低減することの無いように取り組む体制を構築できること。
11	発生した脆弱性に対しては、迅速に対応を実施し、本市に報告することができること。
12	コンピューターウィルスの感染予防及び検出のために必要な対策が講じられること。
13	本業務終了時に、クラウドサービス上で取り扱った本市の全ての情報が、クラウドサービス基盤上から確実に削除できること。

基本要件

■運用保守

項番	質問
1	予約システム及びスマートロックシステムは、原則として24時間365日稼働できること。
2	予約システム及びスマートロックシステムの稼働時間中に、システム環境、設定情報、データベース、各種ログ、その他の監視を行うことができること。
3	予約システム及びスマートロックシステムのすべて、もしくは一部を一時的に停止する場合は、原則として事前に本市と協議した上で、本市または受託者が利用者等に対して周知することができること。
4	本業務に関連する本市（利用者向けコールセンターを含む）からの依頼や問合せ等について、電話、メールもしくは問合せフォームで常時受け付け、迅速に対応できる体制を整えられること。
5	予約システムやスマートロックシステム、キーボックス本体に不具合等が発生した場合は、速やかに本市へ報告するとともに、必要に応じて技術者を派遣し、状況把握、不具合等の発生箇所の特定、復旧作業を迅速に行うとともに、同様の不具合等が発生しないように予防措置を講じることができること。
6	セキュリティに関わる各種システム及びソフトウェアのアップデートを適宜行い、本市に報告することができること。
7	スマートロック本体が電池等を電源とする場合には、あらかじめ本市に電池交換が必要な箇所と時期を通知することができること。
8	別紙「システムサービスレベル定義書」で定義する内容を前提としたサービスレベルの双方合意（Service Level Agreement）ができること。

機能要件

■ 管理者側機能

1. 管理者管理

項番	機能項目	機能内容
1	システム認証	管理者ID及びパスワードによる認証ができること。
2	パスワード管理	パスワードは長さ10文字以上、かつ、英大文字、英小文字、記号、及び数字を含めた設定ができること。
3	アクセス制御	ワンタイムパスワードや認証用USBキー等の多要素認証、またはデバイス認証が使えること。
4	認証解除	能動的に認証を解除（手動ログアウト）できるとともに、一定時間経過等により認証が解除（自動ログアウト）ができること。
5	認証制限	一定回数認証に失敗した場合に、認証不能にする等の制限ができること。
6	管理者情報の登録	管理者情報として、管理者IDごとに登録名、メールアドレス等の情報が登録できること。
7	管理者情報の管理	管理者情報（パスワードを含む）の変更ができること。
8	操作権限の設定	管理者IDごとに操作権限が設定できること。

2. 施設管理

項番	機能項目	機能内容
1	学校及び施設の設定	対象学校及び施設の登録、変更、削除ができること。また、施設ごとに予約可能時間の設定ができること。
3	利用可能日時の設定	施設ごとに利用可能日及び利用可能時間の設定ができること。
4	祝日・休校日等の設定	施設ごとに祝日、休校日等の設定ができること。
5	申込期間の設定	施設ごとに予約（抽選）申込の開始日、及び受付可能期間の設定ができること。
6	申込制限の設定	施設ごとに利用者が予約（抽選）申込できない日、時間等の設定ができること。
7	申込回数等の設定	施設ごとに予約（抽選）申込回数等の制限が設定できること。
8	予約（抽選）申込時間単位の設定	施設ごとに予約（抽選）申込時間の単位が設定できること。

機能要件

12	優先・先行受付の設定	施設ごとに優先・先行受付の設定ができること。
13	利用目的の設定	施設ごとに予約（抽選）申込可能な利用目的が設定できること。
14	予約情報等の公開期間の設定	施設ごとに、利用者等が閲覧できる予約情報等の公開期間を設定できること。
15	お知らせの掲載	施設ごとに、当該施設が利用可能な利用者へのお知らせ情報が掲載できること。

3. 利用者管理

項番	機能項目	機能内容
1	利用者情報の登録①	利用者情報として、利用者IDごとに登録名、メールアドレス、パスワード、予約可能施設の制限、予約申込の制限、減免の情報が登録できること。
2	利用者情報の登録②	利用者情報として、登録区分、主な活動内容、氏名、電話番号、メモ記入欄等の情報が登録できること。
3	利用者情報の登録③	利用者情報を入力したExcel等のファイルを取り込むことで、利用者情報が登録できること。
4	利用者制限	利用者IDごとに利用可能な施設や施設、予約（抽選）申込等の制限ができること。（「仕様書3-3 P2 団体登録に係る手順」要確認）
5	利用者検索	利用者ID、登録名、メールアドレス、予約可能施設等の情報を基に、利用者の検索ができること。
6	利用者情報の出力	登録されている利用者情報をExcel等のファイルに出力できること。
7	利用者重複確認	同一の登録名やメールアドレス等が既に登録されている場合は、警告等のアラート表示ができること。
8	構成員重複確認	同一氏名の者が、同じ種目で複数の団体に登録している場合は、警告等のアラート表示ができること。
9	団体登録承認	利用者情報の登録に対して、管理者が承認及び非承認の処理を実施できること。
10	有効期限の登録	利用者による予約申込等ができる期限を設定及び更新ができること（例：●●年3月分までの予約申込等が可能など）。
11	メール配信①	登録されているすべての利用者に対して、一括でメール配信できること。
12	メール配信②	利用者情報を基に絞り込んだ特定の利用者に対して、一括でメール配信ができること。
13	メール配信③	メールのテンプレートを複数種類保存し、配信時に利用できること。

機能要件

4. 予約（抽選）管理

項番	機能項目	機能内容
1	予約情報の登録	予約情報として、利用施設、利用施設、利用時間、利用人数、利用者ID（または登録名）、等の情報が登録できること。
2	予約情報の管理	管理者が、施設または施設に設定された予約制限等に関係なく、予約情報の登録、変更、削除、閲覧ができること。
3	空き状況の閲覧	任意の期間における施設ごとの空き状況が閲覧できること。
4	予約（抽選）申込状況の閲覧	任意の期間における施設ごとの予約（抽選）申込状況が閲覧できること。
5	予約申込等の履歴	予約情報の登録、変更、削除等の操作履歴（操作したIDや操作日時等）が閲覧でき、Excel等のファイルで出力できること。
6	予約統計データ出力	任意の期間における施設ごとの予約情報を、日単位または月単位でExcel等のファイルで出力できること。
7	利用人数統計データ出力	任意の期間における施設ごとの利用人数の情報を、日単位または月単位でExcel等のファイルで出力できること。
8	抽選機能①	予約申込期間前に抽選申込を受け、抽選を実施し、自動で当選、落選を決定できること。
9	抽選機能②	抽選申込については、第3希望まで入力できることとし、ドラフト形式で当落を決定できること。
10	抽選完了通知	抽選終了時にメールで利用者に当落結果を通知できること。
11	利用者IDなしの予約	管理者の操作等によって、利用者IDを不要とする予約が可能とすること。
12	スマートロックとの連動	予約成立後、予約情報に紐づいたスマートロックを解錠するための暗証番号等の情報を利用者へメールで配信できること。

機能要件

■ 利用者側機能

1. 利用者認証

項番	機能項目	機能内容
1	システム認証	利用者ID及びパスワードによる認証ができること。
2	パスワード管理	パスワードは長さ10文字以上、かつ、英大文字、英小文字、記号、及び数字を含めた設定ができること。
3	認証解除	能動的に認証を解除（手動ログアウト）できるとともに、一定時間経過等により認証が解除（自動ログアウト）ができること。
4	認証制限	一定回数認証に失敗した場合に、認証不能にする等の制限ができること。
5	パスワード変更	利用者自身が随時パスワードの変更ができること。
6	パスワード再設定	パスワードが分からなくなった際、インターネットから申請することにより、予め登録しているメールアドレスに対してパスワードが通知できること。

2. 予約（空き）状況の閲覧

項番	機能項目	機能内容
1	空き状況の閲覧	ログインなしにすべての施設の空き状況が閲覧できること。
2	予約情報の閲覧	ログイン後、利用者自身が利用可能な施設における他の利用者も含めた予約情報の一部（利用日時、利用者ID等）を閲覧できること。
3	予約（空き）状況の検索	予約（空き）状況については、施設や施設、日時等で絞り込める機能を搭載すること。
4	予約（空き）状況の公開範囲	予約（空き）状況については、未来（利用前）だけでなく、過去（利用後）の一定期間も閲覧できること。

3. 予約（抽選）の申込等

項番	機能項目	機能内容
1	予約（抽選）申込等	ログイン後、利用者自身が利用可能な施設における予約（抽選）申込や変更、取消ができること。
2	一括申込	半期ごとに同一施設の予約（抽選）について、曜日・時間を固定した枠で一括予約申し込みができること。
3	申込内容確認	申込み完了前に入力内容の確認画面が表示されること。
4	メール通知	予約（抽選）申込や取消、変更後に通知メールが配信できること。